

5.0MPa対応サイレンサ VCHN Series

消音効果35dB(A)

(供給圧力4.0MPa、背圧2.0MPa時)

※オーダーメイドにて消音効果45dB(A)までの製作が可能

目詰まり低減1/10(当社比)

ろ過度の異なる2層構造の吸音材
により目詰まり低減 PAT.

リリーフ弁標準内蔵

サイレンサ内部圧力が1.8MPa以上
に達した場合リリーフ弁が作動

※オーダーメイドにて異常表示灯・圧力スイッチ
などの計器類の取付けが可能

メンテナンス性向上

ボルト1本の着脱によりサイレンサ
本体を取外すことなく、吸音材を交
換することが可能

凍結低減効果30~40%(当社条件)
(オプション)

スリーブにより高圧・急速排気時
における凍結を低減

型式表示方法

VCHN 3 - 06

オプション

無記号	なし
F	凍結低減機能付

ボディサイズ

3
4

接続口径

記号	接続口径	VCHN□3	VCHN□4
06	R3/4	●	
10	R1	●	●
12	R1・1/4		●
14	R1・1/2		●

表示記号

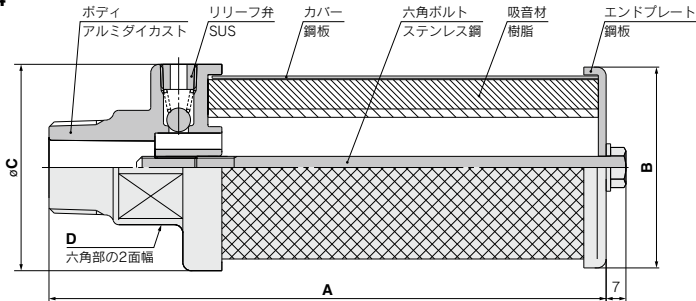


仕様

型式	VCHN3		VCHNF3		VCHN4			VCHNF4		
使用流体	空 気									
最高使用圧力 MPa	5.0(電磁弁一次側圧力)									
リリーフ弁開放圧力 MPa	1.8									
接続口径	R3/4	R1	R3/4	R1	R1	R1・1/4	R1・1/2	R1	R1・1/4	R1・1/2
有効断面積 mm ²	200	280	160	180	280	370	370	180	320	320
吸音材有効断面積(単品) mm ²	420				500					
流体温度 ℃	5～80									
周囲温度 ℃	5～80									
消音効果 dB(A)	35(供給圧力4.0MPa、背圧2.0MPa)									

構造・外形寸法図

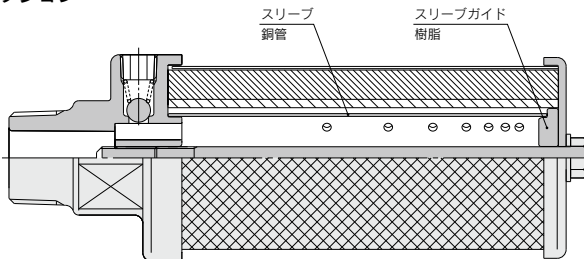
VCHN₄-06~14



PAT.

凍結低減タイプ/オプション

VCHNF₄-06~14



型式	接続口径R	A	B	C	D	質量g
VCHN3-06	3/4	200	φ72	φ74	41	590
VCHNF3-06	3/4	200	φ72	φ74	41	710
VCHN3-10	1	200	φ72	φ74	41	605
VCHNF3-10	1	200	φ72	φ74	41	725
VCHN4-10	1	230	φ72	φ74	41	665
VCHNF4-10	1	230	φ72	φ74	41	810
VCHN4-12	1・1/4	240	φ72	φ74	54	765
VCHNF4-12	1・1/4	240	φ72	φ74	54	910
VCHN4-14	1・1/2	240	φ72	φ74	54	790
VCHNF4-14	1・1/2	240	φ72	φ74	54	935



VCHN Series / 製品個別注意事項

ご使用前に必ずお読みください。

設計上の注意

⚠ 警告

- ①サイレンサの目詰まりや凍結により、排気ポートが閉塞状態となることがあります。
- システム全体の誤作動がないよう安全設計を考慮してください。
- なお凍結が生じる場合は、凍結低減タイプ(VCHNFシリーズ)を使用してください。

⚠ 注意

- ①サイレンサは、空気圧機器より排気される圧縮空気の排気音を低減するものです。
- 排気音以外の騒音(配管内で発する音、機器の振動による騒音、電磁弁の切換え音等)を低減することはできません。
- 排気音以外については、騒音の原因を究明し、対策を行ってください。
- ②サイレンサの一次側圧力は、バルブの供給圧力(P1)を示します。(下図参照)



- ③電磁弁から排気される空気圧回路や圧力等によって消音効果が変化することがあります。

選定

⚠ 注意

- ①バルブの有効断面積(合成有効断面積を含む)より大きいものを選定してください。

取付

⚠ 注意

- ①下表の適正締付トルクの範囲で、六角部の二面巾にあったスパナを使い締め込んでください。

パイプレンチなどを用いて締め込みますと、サイレンサの破損の原因となりますので、行わないでください。

推奨適正トルク

(単位: N・m)

接続ねじ	3/4	1	1・1/4	1・1/2
トルク	28~30	36~38	40~42	48~50

- ②取付け時や取付け後、本体に横荷重を与えないでください。
- ③サイレンサ本体が取付けた機器の振動などで緩む場合は、ねじ部に緩み止めを塗布してから機器に取付けてください。

保守・点検

⚠ 注意

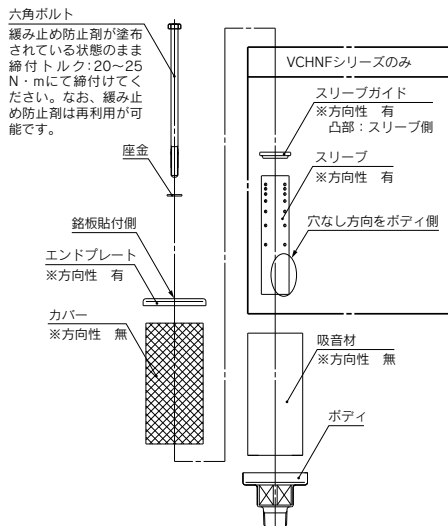
- ①目詰まりして排気速度が低下し、システム機能が低下してきましたら新しいサイレンサまたは吸音材を交換してください。

なお、アクチュエータ等の作動状態は、1日に1回は必ず確認してください。

吸音材 交換方法について

⚠ 注意

- ①吸音材を交換する際は、下記にて作業を行ってください。



交換部品

吸音材品番

品番	品名	適応機種
VCHN3-EL	吸音材	VCHN (F) 3用
VCHN4-EL	吸音材	VCHN (F) 4用